

(特非) 循環生活研究所

地域内で資源が循環する 「ローカルフードサイクリング事業」の立ち上げ

ひろげる助成

2年目

実践

生ごみの資源化 **17.3t**

コミュニティコンポスト
参加世帯率 **5%**

今年度計画の達成度 **70%**

目標達成度 **60%**



ボランティアとして活動に参加する地域住民

課題

生ごみの焼却処分によって焼却や移送時に多くのCO₂が発生しているが、具体的政策は取られていない。また具体的な行動を起こさないヒトゴト層の巻き込みが課題である。

目標

持続可能な循環型地域社会の構築へ向けて、誰もが自分ごととして取り組む有意義で楽しい地域サービスをつくる。

活動内容と成果

- 研究会を設置し、事業全体のデザインや市民を巻き込むプログラム、教育効果や仕掛けなどの検討を年12回開催
- 循環、いきもの、暮らしなどの知識と技術を得るスクールを年48回開催、826人が参加
- 生ごみを週1回で回収交換、堆肥化する仕組みの「コミュニティコンポスト」を構築、会員138世帯、生ごみ資源化17.3t
- 堆肥の還元農地については、野菜づくり・いきもの・資源循環などを学ぶ教育農場として「コミュニティガーデン」を管理。耕作年100回以上
- 活動地域のマーケット開催11回、外部参加11回



収穫と調理で食を学び楽しむ
会員向け交流会

苦勞した点と工夫した点

■苦勞した点

スタッフ、ボランティアの獲得が難しく、菜園管理などのマネジメントに苦勞した。

■工夫した点

マンションや戸建て町内会との連携を図り、地域住民の理解と協力を得られるようになった。

| 活動地域 |  福岡県

〒811-0201
福岡県福岡市東区三苫4-4-27
電話：092-405-5217
E-mail：jsk@jun-namaken.com
<http://www.jun-namaken.com/>



今後の
展望

活動対象とするコミュニティ単位をさらに小さくして、戸建て町内会で事業の仕組み化を図る。モデルの確立後は、他町内会の特色を取り入れながら活動実施地域を拡大させていく。